

広 報



さくら

第60号

令和 5年 2月 1日発行
発行 小千谷さくら病院
発行責任者 中山 克成
編集 広報委員会

新年のご挨拶

新しい年を迎え、職員の皆様も気持ちを新たにされていることと思います。

5月には新病棟が完成します。新年とは別に新たな出発点として初心に戻って、職員皆様の創意工夫を発揮していただき、素晴らしい病棟にしたいと思っています。

難病患者さんに、安全安心な入院生活を提供し、感染を予防し褥瘡をつくらず、適正な栄養を提供すること、を目指していきます。

スタッフの皆様にはひきつづき口腔ケアで誤嚥性肺炎を予防し、可能な限り食べる楽しみを提供いただくようお願いします。

ユマニチュードとは、見る、聞く、話す、立つというごく当たり前のことに対する技術ですので誰にでも身につけることができます。是非そうしてほしいと思います。

私たちは縁あって入院患者さんと共に生活を送り、人生の一時期を共に過ごすことになりました。ご家族の協力をえながら、患者さんに安心していただけるような医療・看護・介護を実現し実践することを目指します。

令和5年も COVID19 感染症と共存していくことになりましたが、社会のエッセンシャルワーカーとしての役目を果たし社会に貢献していきたいと思っています。

どうぞよろしく願いいたします。

院長 山崎 元義

小千谷さくら病院の理念

自分なり家族や友人が利用したい病院づくり

新年のご挨拶

第1病棟

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

ここ1病棟は新病棟建設工事現場に近く、一部の部屋の窓の外には防音シートが設置されていますが、工事の進行に伴い様々な音が聞こえてきます。患者様には大変申し訳なく思っておりますが、新病棟完成への期待と進捗を肌で感じながら経過を見守って頂きたいと思っております。そんな中でも患者様ご家族様が安心して、少しでも満足感を持ち療養生活を送って頂けるよう職員一同努めて参ります。

今年もどうぞ宜しくお願い致します。



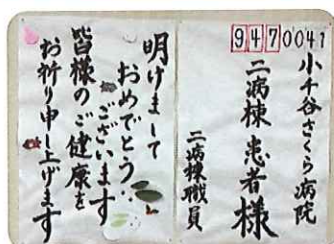
第1病棟看護長 大塚 明美

第2病棟

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年、2病棟では接遇係が中心となり、挨拶や言葉掛け、環境調整など、毎月テーマを決め接遇の意識向上に取り組んできました。毎日朝礼で唱和を行っています。職員一同、思いやりの心をもって患者様・御家族様の気持ちに寄り添えるように努めていきたいと思っております。

面会制限化で会えない時間が続いております。患者様・御家族様が繋がりが安心を感じられるように今後も日々様子や笑顔溢れる写真をお届けしていきたいと思っております。



第2病棟看護長 田中 紀子

第3病棟

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

コロナ禍により患者様・御家族様にはご迷惑ご心配をおかけして申し訳ございません。ご不明な点がございましたらいつでも遠慮なくご連絡ください。

なかなかレクリエーションもできない状況ですが、患者様の笑顔が見られるよう職員一同関わらせていただいております。患者様の様子などを写真や手紙によりお伝えし、日々の様子を少しでも感じ取ってもらいたいと思っております。



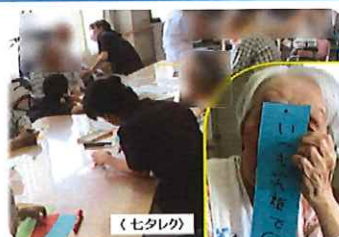
第3病棟看護長 蛸澤 みゆき

リハビリ

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

リハビリでは、当院へ入院して良かったと思っただけのような身体能力の維持・向上の他に様々な取り組みを行っております。昨年度は病棟スタッフと共同してレクリエーション等を行い、少しでも笑顔になっていただけるように努めてまいりました。また、病棟の建て替えに伴い病棟内のリハビリが中心となる中で、病棟スタッフと協力してリハビリの質の維持に努めることが出来たと感じています。

本年もこれまで以上に患者様に喜んでいただけるよう努めていきたいと思っております。



リハビリテーション室主任 鎌田 義之

メロンの栽培・収穫に挑戦しました！

2病棟では今年初めてメロンの栽培・収穫に挑戦しました。メロンの栽培に関しては知識も経験も無い為、メロン農家の方の知識をお借りし、3病棟の職員に手伝ってもらいながら無事に試食会を行うことが出来ました。そこで今回は3病棟の職員にメロン栽培について幾つか質問を試みました。

Q1. 栽培で工夫し、上手くいった点は？

A. ビニールのトンネル栽培において、メロンの伸びた根に水が行き渡るようにホースを設置したこと。獣除けのネットを張ったこと。

Q2. 栽培で難しかった点は？

A. 成長段階によって必要な水分量が変わるので、水やりの管理が難しかった。

Q3. 収穫した時の感想は？

A. 実がなかなか大きくなり、一時は失敗したと思ったがきちんと成長し、つるつるだった表皮にも綺麗な網目模様が出てきた時、絶対これは「旨メ〜ロン」と確信した。

Q4. 患者様の反応は？

A. 「甘くて美味しい。」と夢中になって召し上がられていました。

メロンの栽培は患者様から多くの要望が聞かれていました。しかし栽培が難しい為諦めていましたが、2病棟職員のお父様がメロン農家だと聞き、今回協力して頂きました。必要な苗、道具をお借りし、成長過程におけるご指導、管理までして頂いたことを厚く御礼申し上げます。

コロナ禍で患者様にはレクリエーションを提供出来なかつたり、ご家族様となかなかお会い出来ず寂しい思いをされている中で少しでも笑顔を引き出せるように今後も感染に留意しながら、色々なことにチャレンジしていきたいと思っております。

2病棟 介護福祉士 関崎宏幸



芋掘り

10月上旬、病棟スタッフとリハビリスタッフ共同で芋掘り大会を行いました。雨天により開催が危ぶまれる中、雨天でもやりたいと希望された患者様が多かったため、雨具やタープ等を駆使し、完全防備をしておの開催となりました。

土の上に腰を下ろして行う方、四つ這い姿勢で行う方、車椅子姿勢から手を伸ばして行う方等患者様の能力や希望に応じて、より満足いただける方法を模索して行いました。自宅で行っていた畑作業の思い出話をしながら皆さんが積極的に掘り進める様子が印象的でした。

患者様からは、「あ～楽しかった」「生きてて良かった」との感想が聞かれ、皆さんが充実感に溢れている様子でした。患者様の生き生きとした様子を今後も届けていきます。

リハビリテーション室 作業療法士 星野 菜央



新病棟建築事業について

令和2年11月発行の広報誌で「新病棟整備事業について」でご紹介をしましたが、その後世界情勢の影響で建築資材等の高騰などにより、当初の予定からは遅れましたが令和4年6月27日に関係者の出席により安全祈願祭を執り行い、現在は3階の躯体工事が行われています。新しい建物は地上3階、延床面積は約4,936㎡となり今年の6月には新病棟が完成（大雪などの影響がなければ）する予定です。



編集後記

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いたします。

昨年は様々なことが起き、非常に目まぐるしい一年となりました。今年もさっそく“最強寒波”が到来するなど、忙しい滑り出しとなりそうですが、平穏無事に過ごせることを願うばかりです。

そのためにも食事・睡眠をしっかり取り、健康に留意して生活を送っていきましょう。(渡辺 記)



社会福祉法人長岡福祉協会
小千谷さくら病院

〒947-0041 新潟県小千谷市小栗田2732番地
電話(代表) 0258-83-2680
FAX 0258-83-4416
URL <http://www.sakurahp.com>
E-mail info-01@sakurahp.com
広報委員 中山 克成・木村 陽香・関崎 宏幸
小澤 智人・仲丸 葵・渡辺 優也